

第3回ボランティアセンター運営委員会の会議報告について

表記会議を開催しましたので、ご報告します。

- 1 日 時 平成30年2月5日（月）13時30分～15時30分
- 2 場 所 鶴見区福祉保健活動拠点2階 多目的研修室A
- 3 出席者 大野委員長、星野副委員長、渡辺委員、須佐委員、
山本委員、小林委員、佐藤委員
事務局 伊藤事務局長、中田事務局次長、高井、宮川
- 4 内 容 別紙の通り

開会 大野委員長、事務局よりあいさつ

【議 事】

1. 平成30年度ボランティアセンター事業計画（案）について

資料1に基づき事務局より説明し意見聴収した。

資料1

(1)平成30年度 区社協事業計画(ボランティアセンター部分)について(案)	
ボランティア等 住民活動の推進・支援	
相談・調整・登録	<p>専任のボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア相談への対応及びボランティア活動の促進を行います。関係機関や施設、地域のボランティア団体との連携も踏まえ、ボランティアセンター機能の充実・強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集依頼・活動希望者の受付 ・ボランティア活動・行事保険に関する相談 ・機材貸出の相談・受付 ・情報の収集・整理 ・記録・統計・ケース会議(ボランティアコーディネータ会議) ・多様化するニーズの分析や課題検討を目的とした内部研修を開催します
ボランティア講座・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの発掘と育成を図るため各種自主・共催講座を実施します。 ・新規ボランティア登録者数の増加を目指して、鶴見川クリーンキャンペーンなどのイベントに参加します。 ・新規および既存の登録者が継続的な活動につながるようフォローアップの一環として、ボランティア活動をイメージできる「ボランティア体験会」などの事業を開催します。 ・地域の生活課題に対応できるボランティアの発掘と育成を目指して「生活支援ボランティア講座」を開催します。
ボランティア・市民活動団体分科会	<p>ボランティア団体同士の連携を高めるため、定期的に分科会を開催します。 なお、分科会の開催にあたっては、効率的かつ運営に主体的な参画を得られるよう、会員とともに内容を検討し実施します。鶴見区あいねっと推進フォーラムにて、「つる★ボラコーナー」を設置し、会員の方々と分科会に加入されている団体の活動周知を行います。</p>
ボランティアセンター運営委員会	<p>ボランティアセンター事業や善銀配分を適正に行うため、年3回程度運営委員会を開催します。 また、より透明性を高めるため、議事録をホームページ上で公開します。</p>
ボランティア情報紙・HPの充実	<p>ボランティア情報紙「つるボラ情報」を年3回発行します。 ・内 容:ボランティア募集情報、講座・イベント情報 など ・送付先:ボランティア登録者・ケアプラザ等関係機関 など 区社協ホームページにおけるボランティア募集やイベント等の周知を強化します。</p>
食事サービス連絡会	<p>食事サービスに携わる団体の情報交換や研修の支援を行います。 食事サービス連絡会の創造性・独自性の発揮のため、円滑な自主運営に向けての支援をしていきます。</p>
他機関(施設・区民活動センター等)との連携	<p>より地域の実情を反映できるよう、地域ニーズの収集・分析を行い、地域ケアプラザや区民活動センター等他機関との情報交換や連携を図ります。</p>
善意銀行	<p>善意で寄せられる金品の受付業務を行います。配分についてはボランティアセンター運営委員会により適切に行います。 併せて、善意銀行の受入や活用についてチラシの配布や各種イベントでの募金箱の設置を通じて周知に努めます。 また、善意銀行について分かりやすく示した者や地域でのイベントでも積極的なPRを行うことで、善意銀行の理解を図り、寄付の確保に努めます。</p>
鶴見区ふれあい助成金 つるみ善意銀行助成金	<p>より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、鶴見区・横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業を行っている団体に対し、助成を行います。また助成金制度の変更に伴いより多くの団体が活用できるようになります。地域での生活支援活動や集いの場などの活動支援の充実を図ります。</p>
福祉教育の推進	
福祉教育相談・調整	<p>地域のボランティア・地域ケアプラザなどと協働し、区内の学校や企業、一般区民の福祉理解の向上をめざします。 ・福祉教育相談 ・講師の紹介 ・福祉教育連絡会を実施し、現状と課題を提示しながら、学校や地域とこれからの福祉教育の在り方について検討します。</p>
学生ボランティアの育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のボランティア活動演習に協力するなど、大学のボランティアセンター等と連携し、大学生のボランティア活動の充実を図ります。 ・中・高校生のボランティア活動の支援を年間を通じて行うとともに、夏休みなどのボランティア強化月間を設け、学校に広く周知します。
先生のための福祉講座・福祉教育連絡会	<p>市社協・教育委員会主催の講座に、市内18区社協とともに参画します。 学校等に対する区社協の支援・相談体制について周知します。</p>

大野委員長より

「他機関（施設・区民活動センター等）との連携」では、機関との連携だけでなく、個人からもニーズを収集してほしい。

事務局より

自らニーズ発信ができない方についての相談がケアマネージャー等からくることもある。内部研修等を通してニーズ検討するとともにコーディネートスキルの向上を図っていく。

佐藤委員より

ボラセンで登録している人にも地域で活動してほしいという声がケアプラザのコーディネーターから出ている。登録者が地域で活動できるよう連携していく必要がある。

大野委員長より

市のボランティアセンターから各区の情報をメールで配信するサービスがあるように、メールやSNSを活用できるといい。

2. 平成29年度鶴見ふれあい善意銀行の報告について

資料2に基づき事務局より報告。意見・質問等なし。

資料2

平成29年度 鶴見ふれあい善意銀行 助成状況(予算対比)

区分	予算		区分別申請			区分別助成			会員特典	助成総額	経過・返還		助成額(最終交付金額)		
	区分別金額	会員特典	件数	金額	金額	予算-申請 金額	件数	金額			件数	金額			
A-1	3,940,000	700,000	4	1,000,000	3,589,500	350,500	4	1,000,000	3,589,500	30,000	1,030,000		4	1,030,000	
A-2			9	1,690,000			9	1,690,000		70,000	1,760,000	9	1,760,000		
A-3			5	340,000			5	340,000		30,000	370,000	5	370,000		
A-4			2	100,000			2	100,000		10,000	110,000	2	110,000		
A-5			6	300,000			6	300,000		60,000	360,000	6	360,000		
A-6			0	0			0	0		0	0	0	0		
A-7			4	159,500			4	159,500		0	159,500	4	159,500		
A-8			0	0			0	0		0	0	0	0		
B-1	1,560,000	700,000	3	600,000	1,520,000	40,000	3	600,000	1,520,000	30,000	630,000		3	630,000	
B-2			1	80,000			1	80,000		10,000	90,000	1	90,000		
B-3			11	500,000			11	500,000		30,000	530,000	11	530,000		
B-4			8	340,000			8	340,000		40,000	380,000	8	380,000		
C-1	1,050,000	700,000	11	540,000	930,000	120,000	11	540,000	930,000	90,000	630,000		11	630,000	
C-2			13	390,000			13	390,000		70,000	460,000	13	460,000		
D	270,000		14	280,000	280,000	▲ 10,000	14	280,000	280,000	60,000	340,000		14	340,000	
E	200,000		1	70,000	70,000	130,000	1	70,000	70,000	0	70,000		1	70,000	
F	100,000		0	0	0	100,000	0	0	0	0	0		0	0	
G	700,000		13	650,000	650,000	50,000	13	650,000	650,000	130,000	780,000		13	780,000	
合計	7,820,000	700,000	105	7,039,500	7,039,500	780,500	105	7,039,500	7,039,500	660,000	7,699,500	0	0	105	7,699,500

【G区分との重複申請内訳区分】

区分	件数	金額	区分計
B-3	2	60,000	150,000
B-4	3	90,000	
C-2	2	60,000	60,000
合計	7	210,000	210,000

会員種別	件数
第5種会員	37
第6種会員	36
第7種会員	1
非会員	31
計	105

【助成財源内訳】

市社協補助金より	4,346,000
区社協善意銀行より	2,353,500
年末たすけあい配分金より	1,000,000
合計	7,699,500

<参考>平成28年度

助成件数	98	助成総額	7,270,000
------	----	------	-----------

3. 善意銀行の配分預託状況について

資料3に基づき事務局より報告。以下の意見・質問を受けた。

資料3

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会								
善意銀行 預託配分状況								
(平成29年9月1日～平成30年1月31日)								
1 預託金額	4月～8月		9月～1月		合計		28年度末合計	
受付区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉	20	180,993	40	1,505,859	60	1,686,852	77	2,047,943
障害福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付小計	20	180,993	40	1,505,859	60	1,686,852	77	2,047,943
2 平成29年度1月末通帳残高								
平成28年度末通帳残高	①	17,654,192		0		17,654,192		
前年度未払金(ふれあい善意銀行配分金)	②	-3,792,903				-3,792,903		
平成29年度預託金額	③	180,993		1,505,859		1,686,852		
利息	④	76		0		76		
預託合計		14,042,358		1,505,859		15,548,217		
						(①-②+③+④)		
(A) 平成29年度1月末善意銀行残高						15,548,217		
3 平成29年度配分予定								
区社協事業への配分								
	鶴見ふれあい善意銀行				2,353,500			
	ふれあい運動会				542,433		そらまめ403,702 善銀:138,731	
	送迎サービス				70,000			
(B) 申請配分合計					2,965,933			
(A) 収入合計-(B) 申請配分合計=					12,582,284			
29年度配分後通帳残高(予定)								
4 平成30年度 配分計画(案)								
区社協事業への配分								
	鶴見区ふれあい助成金				2,788,000		平成30年度 年末たすけあい配分金 配分計画(案)	
	つるみ善意銀行助成金				1,800,000		鶴見区ふれあい助成金 1,000,000	
	送迎サービス				846,000			
申請配分合計					5,434,000			

星野副委員長より

企業などからの寄付が減少した印象を受けた。

大野委員長より

ふれあい運動会の費用はそらまめがなくなるとどこから出るのか。

—平成30年度より共同募金配分金を充てることとなる。

星野副委員長より

寄付額は他区も減少しているのか。

—横浜市内で情報交換をしているなかでは、どこも減少傾向なので対策が必要である。

4. その他

平成30年度「鶴見ふれあい善意銀行」助成金制度について

①資料に基づき事務局より説明。以下の意見・質問を受けた。

星野副委員長より

そもそもなぜ制度改正をすることになったのか。

—団体が同じ規模で活動していても区によって助成額が違うことがあるため、横浜市内で統一することになった。また、サービスBへの移行支援を活発にするためでもある。

大野委員長より

市域統一の助成金を受けると、区独自の助成金にある会員特典は受けられないのか。

一受けることができる。市域統一の助成金と区独自の助成金の出処が違うというだけである。

山本委員より

障害当事者団体としてはふれあい運動会の財源が心配である。鶴見区は運動会を横浜市内でずっと続けている区のひとつ。参加者も生き生きとしていて楽しそうなのでこれかも是非続けてほしい。

一ふれあい運動会の費用については今後、共同募金配分金から配分していく。

②平成30年度第1回ボランティアセンターの開催について

事務局より、平成30年5月21日13:00～を次回開催日程として提案し承認された。

以上